



鍋島松濤公園

令和4年度各会計予算を可決 総額は1,552億2,121万9千円(前年度比7.0%増) 渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例などを可決

令和4年第1回定例会は2月22日から3月25日まで、32日間の会期で開かれました。

2月22日の本会議では、2人の議員が代表として一般質問を行った後、監査委員の選任2件に同意し、人権擁護委員の候補者5人について支障ない旨を答申しました。

2月24日の本会議では、3人の議員が代表として一般質問を行いました。

2月25日の本会議では、6人の議員が個人として一般質問を行った後、令和3年度一般会計補正予算1件を可決しました。

3月8日の本会議では、渋谷区立都市公園条例の一部を改正する条例など条例6件、令和3年度一般会計補正予算1件、契約1件、財産の処分3件、規約の変更1件、定期借地権の設定1件を可決し、決議1件を決定しました。

3月25日の本会議では、渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例など条例6件、令和4年度一般会計及び3特別会計の当初予算4件、契約3件、委員会提出議案1件を可決、議員提出議案11件を否決し、専決処分の報告1件を聴取しました。このほか、請願1件の取下げに同意、5件を不採択とし、決議1件、意見書1件を決定しました。

令和4年度各会計予算額

区分	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	増減率
一般会計	1,062億6,700万0千円	994億4,900万0千円	6.9%
国民健康保険事業会計	254億8,518万0千円	239億8,850万1千円	6.2%
介護保険事業会計	167億5,187万2千円	155億9,306万6千円	7.4%
後期高齢者医療事業会計	67億1,716万7千円	59億7,733万0千円	12.4%
計	1,552億2,121万9千円	1,450億789万7千円	7.0%

次回定例会のお知らせ

- 令和4年第2回定例会は、6月1日から開かれる予定です
本会議は、通常、定例会の初日と2日目、3日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。

デフリンピックの東京開催を求める意見書

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、昨年様々な困難を乗り越え開催され、選手たちの活躍は、多くの人々に感動と希望をもたらした。

そして、現在国内では、令和7年に開催される聴覚障がい者の国際スポーツ大会デフリンピックの日本開催招致に向けた取り組みが進められている。

デフリンピックの開催は、聴覚障がい者への理解及び手話の普及を推進するものであり、渋谷区が令和3年4月に施行した「渋谷区手話言語への理解の促進及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例」の趣旨である「全ての区民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会の実現に寄与」するものである。

加えて、障がい者スポーツへの感心が高まり、新たにスポーツに取り組む障がい者が増えていくことは、障がい者の社会参加の促進にも繋がり、渋谷区が取り組む多様性を尊重する社会の推進においても重要な意義を持つと考える。

日本で初めてとなるデフリンピックの開催地には、東京2020大会のレガシーの活用、様々なスポーツの国際大会開催の実績などを鑑み、東京都が最適である。

よって、渋谷区議会は東京都に対し、令和7年のデフリンピックの東京招致を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年3月25日

東京都知事 あて

渋谷区議会議長名

一般質問(代表)

新年度予算、保健衛生等6点について伺う



自由民主党 丸山 高司 議員

予算編成方針について

問 ①新年度どのような対策や施策を実施するのか、基本的な考え方と併せて伺う。②枠配分方式導入の成果は。

保健衛生について

問 ①迅速なワクチン追加接種と小児への接種に対する所見を伺う。②保健所人員体制

の対処、今後の備えは。③渋谷区医師会や病院とどのような役割分担を進め健康確保の取組をするのか。④新型コロナウイルス対策で国の指針に基づき変更となった方針の周知方法は。

区長

①コールセンター最大100回線を用意。会場を拡大して接種を加速。小児接種は任意となるが、小学校8校を地域接種会場とし、正確な情報を丁寧に伝える。②応援部署と人数を事前に定め、陽性患者数の増にも迅速に応援できる体制を確保。今後は外部委託や派遣職員の更なる活用を検討。新たに疫学調査支援システム導入準備を進める。

区長

③自宅療養者が増大し、保健所だけではなく、東京都や医療機関等がそれぞれ患者の健康観察を行う体制が取られている。④ホームページを適宜更新し、大きな方針転換は区ニュース等でお知らせする。

福祉について

問 重層的支援体制整備事業開始にあたり、どのような相談も対応できるスキルアップを行い、実効性あるものに。地域福祉コーディネーターの配置など具体的な活動内容は。

区長

専門の担当組織を設置し職員体制強化。特に相談支援は断らない相談窓口として機能するための環境整備を進める。地域福祉コーディネーターは、区内4つの日常生活圏域ごとに1人配置し、区民へのアプローチに取り組む。

住民サービス・観光産業振興について

問 ①マイナンバーカードによる、本人確認手段を活用して行政サービスを拡充させる予定は。②デジタル地域通貨

を導入して、どんな事業を展開する予定か。利用者が区民かどうかの判定が可能か、区民限定のサービスなど実施予定は。ふるさと納税の返礼品として活用を。地元企業や区内大学などと連携することで勢いを。地域活動の担い手不足解消にも活用できるのでは。③スタートアップ企業の受け皿となる育成支援組織を作り、企業育成の仕組みの構築を。

区長

①印鑑登録証明のLINE申請ができるよう条例改正案提出。来年度には、区独自に行政手続のオンライン化に取り組み、申請や届出を提出できるようにしていく。新・施設予約システムでも導入予定。②プレミアム付デジタル商品券事業など、利用者がインセンティブを得られる事業を積極的に実施。公的個人認証サービスの技術を活用し、区民の判定ができる機能の導入を検討、区民向けのサービスを充実させていく。区内消費の活性化につながる、ふるさと納税の活用も検討。区内企業や大学など多様なステークホルダーとの連携が必要不可欠。区の事業や地域活動参加の場合にポイント付与するなど検討し、地域の活性化につなげていきたい。③まず高度人材の招へいを検討中。日本のスタートアップ業界をけん引する新しいエコシステムを創出するため、強いアクセラレーター組織を作りたい。

子育てについて

問 ①高校生までの医療費無償化について、都の所得制限超過者と自己負担分は区の負担で執行する事業。限りある財源を今どこに向けるべきかと議論し、慎重に検討した

区長

上で判断すべき。②渋谷区子育てネウボラ内の東京都児童相談センターサテライトオフィスにどんな役割を担わせるのか、将来の展望を含め伺う。

区長

①制度の詳細は明らかになっていない。ふかんのかつ慎重に検討。②児童福祉司が常駐し、緊急を要する虐待対応等について児童相談所と迅速に連携、子ども家庭支援センターと虐待対応等で法的権限を有する児童相談所が一体となった児童福祉体制が可能となることを期待している。

教育について

問 ①貴重な埋蔵文化財を区民の目に触れられるよう積極的な活用を。②青山病院跡地を仮校舎とできない地域にある学校の建て替え手法は。③渋谷図書館に係るロードマップを示し利用者や区民の皆様が安心を。④渋谷本町学園第二グラウンドに建設予定の認定こども園は、本町幼稚園発展を視野に、保育所型で

区長

はなく幼稚園型あるいは幼保連携型で整備すべき。⑤和菓子作りの出前授業を希望する小学校にて展開を。ワンダフル給食の中に和菓子を取り入れ、感性を養う一助としては。

区長

①区内大学等に貸し出すことや区有施設の建て替えの際に、文化財展示スペース等設けるなど活用方法を検討。③早期に建て替えを予定している広尾中学校に複合化する計画で検討。時期は、青山病院跡地を活用した仮校舎を利用し、令和8年度末の完成を目指している。④教育と保育を一体的に実施する「幼保連携型認定こども園」とすることが望ましいとの考えに至る。

教育長

②大きな面積を持つ場所を中心に、特にスポーツセンターなどを仮校舎敷地として活用を検討。⑤4年度も和菓子協会の協力をいただき、伝統文化を学ぶ貴重な場を拡充。ワンダフル給食取り入れは、給食提供の細かいルールを弾力的に運用が可能か検討。



神南小学校で行われた「和菓子」の食育授業の様子

予算編成方針及び基本構想の各分野等について伺う



シブヤ笑顔 岡田 麻理 議員

予算編成方針について

問 予算編成の区長見解を。区長 しっかりとしたコロナ対策と、未来への投資のバランスも取った編成となった。

子育て・教育分野について

問 ①学校基本計画で学校施設未来像の構想は。②放課後クラブの導入を。③今後の保育の在り方を伺う。④認証保育所が継続できるよう後押しを。⑤本年4月に設置するサテライトオフィスの体制は。

区長

①公共施設機能の戦略的集約化を図りSDGsやZEBを意識した学校施設を整備。③保育の質向上に「保育の質ガイドライン」策定に着手。④都の認証保育所制度見直しの動向を注視。⑤都の児童福祉司などと子ども家庭支援センター相談員が連携し、虐待の早期発見、対応を整備。教育長 ②令和4年度から入退室管理システムを導入。

福祉分野について

問 ①過去3年間の障がい者サービス等利用計画新規件数

開設予定の東京都児童相談センターサテライトオフィス



と精神障がい者の割合は。②相談支援事業所を支援し専門員の確保を。③神宮前三丁目障がい者施設のカフェを障がい者が働ける場とし、商品やシブヤフォント製品なども購入できるようにしては。④認知症検診について伺う。

区長

①新規作成22件のうち精神障がい者15件。②実態把握に努め検診。③指定管理者と実現に向け協議。④高齢者にチェックシートを送付し、希望者に認知機能検査を実施後、地域包括支援センターやかかりつけ医と情報を共有。

健康・スポーツ分野について

問 ①小児のワクチン接種有無による差別や分断防止対策は。②自殺防止で救急医療機関と連携し未遂者の支援を。

区長

①正確な情報を伝え接種が強制でない旨丁寧に説明。②区内救急医療機関の実態把握を行い、連携体制構築を検

討。③会場内での移動支援や会場までの送迎支援を検討。

防災・環境分野について

問 ①廃プラスチック資源回収に環境教育で学校等への出張授業を。②来年度防災キャラバンの時期や会場は。区長 ①環境教育を工夫し持続可能な渋谷を目指す。②総合防災訓練は6月から11月にかけて5地区で先行実施予定。

空間とコミュニティのデザイン分野について

問 渋谷駅桜丘口地区市街地再開発事業の効果や特色は。区長 国道とJR線によるまちの分断と高低差を解消。帰宅困難者向け一時滞在施設や約250台の駐輪場も整備。

文化・芸術分野について

問 図書館10館体制の維持と蔵書充実確保について明言を。区長 利用者にとって、より

新型コロナウイルス感染症対策、教育等5点を伺う



党 明 久永 薫 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

問 ①自宅療養者への医療提供とオンライン診療の実績は。

良い形となることを目指す。

区政運営について

問 ①同性パートナーにも災害弔慰金の適用を。②男性向けDV相談窓口は区でも整備を。③ウェブサイトを再構築でやさしい日本語と番号検索の導入を。④亡くなられた後の手続の流れをホームページに。区長 ①法律婚・事実婚のサポートに適用される行政サービスについて全庁的に調査を実施し、予算措置を含めて準備を進めている。②課題に向き合い配暴センター機能の整備を考える。③利用者視点のシステムやツールなど導入を検討。④流れの掲載も含め研究。

用語解説 ※ZEBネット・ゼロ・エネルギー・ビル略称で、快適な室内空間を実現しながら、消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

精神科医等に直接相談できる教員への研修会等の実績は。⑥中学生に映画「ケアン」の鑑賞機会を。区長 ③令和8年度末までの建て替え検討中の広尾中学校に複合化を検討。サービスポットはゴールデンウィーク前を目途に白根記念渋谷区郷土博物館・文学館に開設予定。

問 ①今年度中に区立幼稚園も含め全教室に設置予定。②感染リスクが高いと考えられる活動では、保護者の同意に基づく任意のPCR検査実施。教職員の抗原定性検査も任意に活用可能となり周知済み。④スクールロイヤーは仕組みを検討中。児童・生徒へのサポートはスクールカウンセラー増により相談機会が増え、早期発見・対応が可能。⑤特別支援教育コーディネーター、特別支援教室等の学級担任、関係機関職員と学校教員等を対象に研修会を3回開催。質疑応答で講師の方々から直接助言をいただいた。⑥学校への情報提供に努める。

子育て支援について

問 ①保健師を中心とした「TEAMネウボラ」と4月開設の児相センターサテライトオフィスの想定される連携事例は。②今年度構築されるデジタルコミュニケーションプラットフォームの仕組みと効果は。③高校3年生までの医療費無償化の区の考え方は。区長 ①子どもの保護などの踏み込んだ対応が必要な際に迅速な対応が可能。②個別相談対応をシステム上で管理し、情報を共有。ニーズに応じた支援や案内が行える。所管間の個人情報扱いなど課題はあるが関係部署との連携を円

滑化し、成果を挙げることを期待。③都から詳細説明がないため、都との議論や区議会の意見も伺い検討していく。

福祉について

問 ①重層的支援体制整備事業の内容と視察の結果は。②来年度配置される地域福祉コーディネーターの活動は。生活支援コーディネーター等との連携例は。③オンライン活用による渋谷区版フレイル予防実証事業の内容は。④「認知症検診セルフチェックシート」の推進方法は。⑤来年度の認知症に関する普及啓発イベントは。⑥来年度からの在宅医療・介護連携事業の展開は。

問 ①「相談支援」では職員意識改革、「参加支援」では社会福祉協議会と協働で地域資源の発掘やネットワーク構築。「新たな相談窓口」設置も検討。視察先では社会福祉協議会との密接な連携が共通しており、更なる連携強化を進める。②地域に溶け込んだ活動。連携例は8050問題やヤングケアラーなど互いの専門性を発揮した対応を想定。③月1回の体力測定と週1回の運動プログラム実施。④まずは対象年齢を定め送付するが希望者も利用できるよう検討。早期対応につながることを家族に向けても周知。一定点数以上の方には認知症検診実施など適切な支援や医療につなげる。⑤基調講演やパネルディスカッション、若

渋谷区からの重要なお知らせです
令和4年7月から渋谷区全域で「プラスチック」の分別区分と回収方法が変わります。
「プラスチック」の出し方が変わります。
「可燃ごみ」の日 → 「資源」の日
可燃ごみで収集している「プラスチック」を資源として回収します。
これにより、渋谷区では次の9品目を資源回収いたします。
●新聞 ●雑誌 ●ダンボール ●びん ●缶 ●ペットボトル ●スプレー缶、カセットボンベ ●蛍光灯 ●プラスチック
「資源」として回収する「プラスチック」は、次のものです。
【中身の残るもの】に入れてお出しください。
●プラスチック製品(厚さ30cm以内)
●商品を入れたもの(容器)や詰んでいたもの(包装)であって、中身の残ったプラスチック製のもの(使った後、不要となるプラスチック製のもの)
●その他プラスチック製のもの
(例) シャンプー・洗剤のボトル類、お菓子の袋、カップ麺の容器、卵のパック、食品トレイ、プラスチック製のハンガー(フック部分が金属でも可)、CD、DVD、ビデオテープ、発売スケジュール表、ポスター、プラスチック製のおもちゃ(電池は外して)など
(注) 汚れても汚れが落ちないもの、ライター、モバイルバッテリー、在宅医療で使用した注射器などは除外します。

コロナ対策強化、いのちとくらし、教育最優先の区政に



日本共産党 田中 正也 議員

示せ。廃止条例撤回を強く求める。広尾中との複合化について学校関係者、住民合意は考えていく。これから説明。

いのち、くらし、教育最優先の区政への転換について

問 ①国保料引下げ、子どもの均等割をゼロに。②ケア労働者賃金引上げを国に求め、区独自助成を。③就学援助認定基準の引上げを。④給食費無償化を。⑤医療費無料制度は高校生まで拡大を。⑥渋谷駅周辺再開発事業などへの税金投入はやめよ。区長 ①国と地方の協議を注視。②⑥考えはない。③現基準を維持。④現在考えていない。⑤他議員に答弁のとおり。

国政問題について

問 敵基地攻撃能力の保有の検討に反対し、憲法9条をいかにした外交を。区長 国政で議論されるべき。

新型コロナウイルス対策について

問 ①85億円の基金の増額はやめて、いのち、くらしを守るために活用を。②3回目のワクチン接種は1、2回目の規模で集団接種会場を確保し、介護サービス従事者や保育士など職域接種の強化を。③児童・生徒、エッセンシャルワーカーに定期的な無料のPCR等検査の実施を。④常勤保健師の増員を。⑤年間所得200万円以下の課税世帯に、区独自に10万円の給付を。区長 ①予算は生活を守る内容。②2か所の集団接種会場を開設。旧第二美術庁舎で受入れ。③都の感染症対策事業を活用し対応、検査体制は整っている。④慎重に判断。⑤考えはない。

渋谷図書館の存続について

問 渋谷図書館廃止の根拠を。区長 ①予算は生活を守る内容。②2か所の集団接種会場を開設。旧第二美術庁舎で受入れ。③都の感染症対策事業を活用し対応、検査体制は整っている。④慎重に判断。⑤考えはない。



突然建て替え図書館との複合化計画が発表された広尾中学校

教育について

問 ①全小中学校で35人学級実現を。②統廃合・施設複合化・民間資金の活用はやめよ。区長 ①苦議員への答弁とおり。②関係者と協議を進める。

気候危機打開について

問 ①国にCO2削減目標の引上げを求め、区も目標引上げを。②区有施設は100%再生可能エネルギーに転換を。③太陽光発電設備等へ助成を。④総合相談窓口の設置を。区長 ①求めない。引上げは現実的ではない。②施設整備と合わせ検討。③必要に応じ検討。④専門部署で対応。

子育て、教育(学校、図書館の在り方)、健康等について伺う

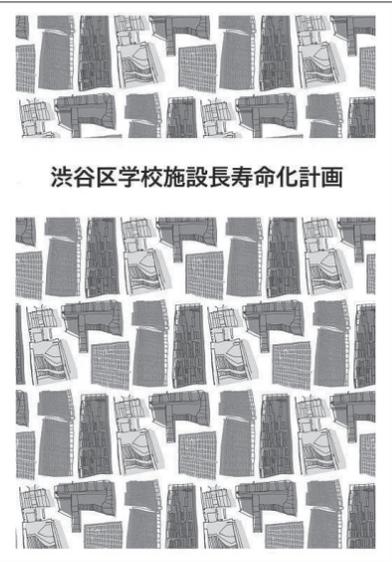


立憲民主党 治田 学 議員

子育てについて

問 ①施設増とコロナ拡大で保育課の負担が増している。課長職の担当を分けるなど体制を見直すべき。②児童福祉司の人材確保、育成のため、都が新たに設置する研修施設の利用等、今後の目標や計画は。③来年度、都が始める認証保育所の空きスペースを活用した学齡児の受入れ事業の

渋谷区学校施設長寿命化計画(表紙)



渋谷区学校施設長寿命化計画

教育について

問 ①代々木山谷小学校の教室不足について具体的な対応を。②今後、学校長寿命化計画での建て替え、改修では人口動態分析など適切な対応を。③区の不登校児童、生徒数は、昨年11月現在、小学生68人、中学生88人。オンラインでの対応の効果を定量的に測るべき。④民間フリースクール連携のため協議会設置の検討を。⑤渋谷図書館は、近隣の方に施設を見てもらうなど現状の周知が重要。⑥また、改修費用4億円は区の概算。業者に委託し正確な額を示すべき。⑦さらに、地域住民や利用者の意見を聞く場を作ると共に、地域住民や有識者の検討会を立ち上げるなど、協働すべき。区長 ②適切に対応する。⑤見学機会を設けたり、見積り徴取は行わない。⑦広尾中の建て替えに際し意見を伺う。教育長 ①学校敷地内で教室整備。③定量的に測る予定はないが、効果的な事例を共有。④協議会設置の予定はない。

健康について

問 ①3回目のワクチンはファイザー製の希望が多く、接種率が低迷。モデルナ製の配分が多い中で接種率向上のための周知を。②小児ワクチン接種について早期に個別接種体制を整えるべき。③様々な理由で、接種を控える子どもや保護者へのいじめや中傷がないよう十分な配慮を求める。区長 ①交互接種が認められていることなど各媒体で正確な情報を提供。②渋谷区医師会に依頼し検討中、近日発表。教育長 ③適切に指導するよう、通知や校長会で依頼。

福祉について

問 ①住民税非課税世帯への国の臨時特別給付金対象から漏れる世帯に対し区独自の支援を。②家計急変世帯への給付は申請が必要で複雑。より一層の広報を。③小学校休業等対応助成金制度についても十分な周知を。④高齢者デジタルデバイス解消事業はコールセンターへの相談が基本で利用しづらいと聞く。事業者の店舗でも相談できるなどの改善を。区長 ①区独自の支援はしない。②丁寧な周知する。③制度内容の変更など情報発信に努める。④デジタル活用支援員の相談窓口開設。4月から窓口増など体制強化を図る。

環境について

問 ①日本財団協力の公共トイレ改修は財政負担がなく斬

新できれいな面を評価する一方、複雑な形状や色、素材など維持管理が懸念される。長期的な財政負担をどう考えるか。②今後の改修はシンプルなデザインにすることも必要。③地域振興支援では、コロナ禍でのオンライン会議やイベントを行う場合、公益性のある団体にソフト利用料補助を。④羽田空港新飛行ルートに關し、昨年末の都及び関係区市連絡会の幹事会では、23区の

担当者で意見を挙げたのは江戸川区と品川区だけであったが、区長自身が出席しない会議でも区民の声を伝えるべき。区長 ①適正な清掃回数を実証実験等で検証を重ね、最適な維持管理を検討。②議員ご提案の考え方も参考に渋谷らしいトイレを整備。③現在の補助制度を活用いただきたい。④騒音対策、安全対策などの報告に關して、改めて区から発言すべきことがなかった。

ンクルージョンとあるが、いきなり手を出すのは、社会主義国の弾圧と変わらないと全然、多様性でもインクルージョンでもない。区トップとして渋谷区基本構想を守れないのであれば、職員の行動規範に大きな影響がある。基本構想を改定するべき。変えないのであれば辞任すべき。②未成年ということで保護者、本人へ謝罪はしたのか。③警察の事情聴取や出頭要請はあるのか。また出頭しないのか。職員が同じ違反をした場合、懲戒処分では整合性ない。区長 ①②③私が高校生の携帯電話につかみかかったという事実はなく、その方が未成年であるかは疑問だが、謝罪するようなことはしていない。警察から連絡もなく、出頭する気もない。暴力を振るった事実はないので、職員も大丈夫だし、基本構想を変える必要もなく、辞任する気もない。

問 本年の1月16日の19時55分頃、長谷部区長自宅前で、五十嵐俊子教育長の選任に抗議に来た高校生に対し、長谷部区長が自宅から出てきて鬼のような形相で詰め寄り、高

校生の携帯につかみかかり、負傷し全治1週間のけがをした。①公人として相手の話を聞かずに行動に出たのか。渋谷区基本構想の3の2には、渋谷区はダイバーシティ・イ

一般質問(個人)

多様性について区長に伺う



れいわ渋谷 堀切 稔 議員

区長へ辞任を求め

問 本年の1月16日の19時55分頃、長谷部区長自宅前で、五十嵐俊子教育長の選任に抗議に来た高校生に対し、長谷部区長が自宅から出てきて鬼のような形相で詰め寄り、高

特養ホーム増設やジェンダー平等の推進等を求める



日本共産党 五十嵐千代子 議員

高齢者の福祉施策について

問 ①75歳以上医療費窓口2割負担の中止を国に求め非課税高齢者は無料に。②代々木2・3丁目の国有地や都有地等を活用し特養ホームを増を。区長 ①著しい負担増者には配慮措置を実施予定。無料の考えはない。②国や都有地の活用等様々な手法を検討。

生活困窮者支援について

問 ①生活保護のしおりを出張所等窓口。扶養照会への対応は。②国に生活保護家賃扶助引上げ申請を。③区営住宅等増設と家賃補助制度拡充を。区長 ①地域包括支援センター等設置検討。扶養は丁寧な説明。②考えはない。③昨年54戸開設。拡充の考えはない。

ジェンダー平等と多様性社会推進について

問 ①教育にリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)視点を。②学校や公共施設トイレに生理用品設置を。③区内企業に男女賃金格差是正要請を。区長 ②検討。③検討課題。

教育長 ①学校の取組を支援。

小学校のワクチン集団接種と五十嵐教育長の問題について



れいわ渋谷 金子 快之 議員

小児ワクチン集団接種に反対

問 ①国は学校集団接種を推奨していない。なぜ国の指導に従わず強行か。②小児用ワクチンがオミクロン株に効くというエビデンスがあるのか。区長 ①集団接種ではない。②厚生科学審議会で報告。

五十嵐教育長の不可解な言動

問 ①教育長が議長に警告書を送付。弁護士を雇い議員に圧力を掛けるのは卑怯。教育長の誇りはないのか。町田のイジメ自殺事件の説明責任を果たせ。②五十嵐氏は区役所周辺の街宣禁止を裁判所に申し立てた。教育長の本分を忘れてないか。③学生との紛争は身から出たさびで児童の笑い物。訴えは取り下げろべき。教育長 ①個人で弁護士依頼。②答弁控える。③申立ては相当。

ちがいをチカラで変える街

問 ①学生が区長に殴られ負傷。政治活動の自由の侵害だ。②保身の為に遺書を利用するのは死者にむち打つ行為で許

*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容は、区議会ホームページまたは会議録(5月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は区政資料コーナー、区立図書館でご覧になれます。

問 スタートアップ支援について、①長期的なアクセラレータープログラムを。②社会課題の解決や社会貢献の企業文化醸成など意義ある取組に社会的弱者に優しい交通について、③ヘルパー1人で複数の障がい者を支えられる安全な移動支援を。④地域公共交通会議と移動支援用オンデマンド乗合交通整備を。⑤高齢者の引きこもり防止に活用を。⑥緑道工事中も市民共創の取組を。⑦笹塚駅南口再開発に伴う拠点開設計画は。⑧プロジェクト支援の継続・拡張性は。⑨データ活用やスマートシティ事業との連携は。

区長 ①早期に立ち上げる。②地域の課題解決につなげ、

持続可能な渋谷区の発展について3テーマを伺う



シブヤ笑顔
田中 匠身 議員

し難い。遺族の同意を得たのか。③区長会見で私のひぼう中傷は事実無根、総務部長が謝罪した。区長も謝罪を。④五十嵐氏は町田で放置し隠ぺいした。いじめ防止法違反ではないか。

区長 ①責任が伴ってくる。②適正。③謝罪の報告を受けていない。④法令違反はない。

問 ①コロナ対応、感染者の早期発見とまん延防止、ワクチンを「うちたい方がうちやすい環境づくり」を。②教育の成果と抱負、タブレットの活用は。③新交通サービスが増えている。既存事業者と新規参入事業者が一堂に会する場を設けては。④男性の私にわからない負担が女性にある。生理等女性ならではの問題を風通しよく議論し解決を探るチームを作っては。⑤渋谷駅

感染症対策、教育、地域交通、女性支援、ごみ箱設置について



鈴木 建邦 議員

地域振興との好循環を生み出す。③早期に条件等を検討。④地域公共交通会議の設置を含め整備支援の検討を進める。⑤研究する。⑥区民がわくわくする機会を創出。⑦プロジェクトの活動や交流の場など検討。⑧来年度以降も新たな支援。⑨声を集めデータ化。人流等の街なかデータと掛け合わせ分析・可視化する。

用語解説 ※アクセラレータープログラムはスタートアップ企業の事業成長をサポートし、社会課題の解決にいかす共創プログラム。

問 ①新規事業として導入されるデジタルコミュニケーションプラットフォームはどのようか。②行政オンライン化でできる手続は何%なのか。③

新年度予算、建築紛争の予防、記者会見について伺う



須田 賢 議員

周辺に目立つごみ箱の設置を。③環境づくりは重要。④3回目接種は前倒し、小児接種は学校だけでなく、個別会場を設置するなど環境整備に努める。⑤利用者をはじめ、既存交通事業者、新規参入事業者などからなる会議体の設置を検討。⑥渋谷区女性活躍推進計画を定めた。来年度、推進プロジェクトに副区長も参加し、職員と意見交換を図る予定。⑦いかにマナーの向上を図るかを研究課題とする。

教育長 ②「シブヤ未来の学校 産学官連携プロジェクト」を新規に立ち上げ、仕組みを整えた。タブレットの日常的活用の定着は第一歩。テストのオンライン化など個別最適な学習につなげる。さらに、学習者主体の視点から新たな学びの挑戦を続けていく。

議会情報公開・個人情報保護実施状況	
情報公開関係(令和3年12月1日~令和4年3月31日)	
請求件数	8件
文書件数	28件
公開件数	26件
非公開件数(不存在)	2件
個人情報保護関係(令和3年12月1日~令和4年3月31日)	
請求件数	0件

デジタル地域通貨の想定は。①動向を注視しつつ、業務とAIとの連携について、今後も研究。②約60種類、3%。③初年度は1000店舗程度の参加を目標とする。キャンペーンを実施し、多く利用されるよう取り組む。

建築紛争の予防について

問 民間マンション建築のトラブルは紛争調整を行うべき

区長 条例に基づくあっせん等を通じて当事者間での解決を目指し、積極的に取り組む。

記者会見について

問 昨年、動画配信及び発言録掲載を要望し、検討課題と答弁をされたが、いまだに実施されない。近隣区は実施しているが、いつ実施するのか

区長 記者会見は報道機関に向けた発表や説明を行う場。区ウェブサイトに於ける記者会見の動画配信及び発言録の掲載を導入する考えはない。

区環境分科会

▼町会活動の支援については、町会の要望を反映した要綱改正を進めるなど、コロナ禍で停滞している地域コミュニティの活性化を図りたい。

▼デジタル地域通貨の導入については、地域に根ざした店舗支援の取組とともに、多様な人の社会活動参加を促

総務分科会

▼一般社団法人渋谷未来デザインについては、区の出資団体であるので、財務の健全性に留意して運営されたい。

▼広報媒体が多様化の中で、区ニュースでは整理されてわかりやすい情報であること、HPやSNSでは常に更新された最新情報であることが求められるので、それぞれの特長をいかした効果的な情報発信に努められたい。

▼本庁舎中央エレベーターは、混雑時の待ち時間を短縮するため、来庁者が一層利用しやすくなるよう運行を工夫されたい。また、エスカレーターや低層階用エレベーターの利用案内にも努められたい。

▼選挙用ポスター掲示場については、他区の設置状況を研究し、都道・区道の交差点や駅のロータリー等にも設置するよう検討されたい。

文教分科会

▼峰の原青少年山の家については、老朽化が否めないため、青少年だけではなく、より多くの方に利用される施設のあり方を検討しつつ、利用者等からのアンケート結果も踏まえて、機を逸することなく適切な改修をされたい。

▼交通安全教育については、スケアード・ストリート方式の交通安全教室は実際に体験することで教育的効果を得られるため、開催可能な校庭がある学校を中心に近隣校と合同で実施するなど、より多くの子どもたちが参加できるように、関係所管とともに工夫されたい。

▼学校建て替えに伴う仮校舎については、現在進められて

す仕組みにされたい。

▼「高齢者住まい安心サポート」については、他部との連携に努め、区民や関係団体へ制度の周知を図られたい。

▼ふれあい植物センターのリニューアルは、今まで以上に地域と利用者へ愛される施設となるよう努められたい。

▼廃プラスチックの回収は、資源化の意義や回収方法を丁寧に周知するとともに、区民の負担に見合うようCO₂削減効果がより高まる資源化方法の検討も続けられたい。



△予算特別委員会表決の様子

いる新しい学びに対応できる設備を整え、子どもたちの学習に支障が出ないよう十分留意されたい。

福祉保健分科会

▼民生委員・児童委員については、改選時の引継ぎがタブレットを活用した情報共有によりスムーズに行われるよう努められたい。

▼高齢者デジタルバイド解消事業については、引き続き講座や相談体制を充実させ、取り残される人が生じないようきめ細やかな対策を講じるとともに、利用者ニーズに応じた施設でのWiFi環境を整備されたい。

▼高齢者の認知症検診については、誰もが躊躇することなく気軽に受診できるような環境づくりに努められたい。

▼がん予防事業については、がん検診の大切さを分かりやすく丁寧に説明し、該当する区民の受診機会を逃さないよう周知を徹底されたい。また、精密検査受診率向上のため更なる対策を講じられたい。

予算特別委員会審査概要

委員会の活動状況

令和3年12月9日～令和4年3月25日

常任委員会

総務委員会

▼LINEを活用した住民票の写し等の申請について、マイナンバーカードを活用した申請を実施するとの報告を受けました。現在の証明書申請から他の業務まで対象を拡大し、非来庁型サービスの推進を図るよう要望しました。

▼スマートシティ推進事業について、庁内外のデータを活用し、基本構想の分野ごとにグラフや地図等で可視化するダッシュボードを順次公開するとの報告を受けました。区民の意見を取り入れ、政策にいかすよう要望しました。

▼令和4年度、代々木公園での中央防災訓練を各地区での訓練に移行するとの報告を受けました。地域住民による自助・共助を築く訓練を行い、訓練成果の検証と検証結果の反映により、各地区に即した訓練となるよう要望しました。

区民環境委員会

▼落書き対策プロジェクトについて報告を受けました。落書きを許さない街を実現するため、罰則等も検討することや通報体制の強化を求める意見がありました。

▼ふれあい植物センターリニューアル事業実施設計報告を受けました。清掃工場還元施設

設である意義を失うことなく、地域や今までの利用者に対して丁寧な説明をし、今までの以上に、地域に愛される施設となるよう要望しました。

▼生ごみの減量に向けた実証事業の結果について報告を受けました。課題を検証した上で、実効性のあるごみ削減を実現するよう求めました。

▼主要生活道路5号線整備について報告を受けました。防災性強化の点から、スピード感をもって推進するよう求めました。

文教委員会

▼渋谷区認証保育所連絡会との懇談会を開催しました。懇談会には区内に9か所ある認証保育所の代表者が出席し、運営状況や、区への御意見・御要望などを伺いました。

▼文化財コンテナ倉庫を視察し、埋蔵文化財の管理状況を確認しました。区民の財産である埋蔵文化財を有効に活用していく工夫を求めました。

▼保育園と区立幼稚園小中学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について聴取しました。確実な感染症対策をとるとともに、保護者の状況も踏まえて、丁寧に対応するよう要望しました。

▼令和3年度「渋谷タブレットの日」について報告を受けました。デジタル教科書の使用状況を検証して、その結果

を教職員の指導力向上につなげていくよう求めました。

福祉保健委員会

▼新型コロナウイルス追加接種(3回目)の前倒しについて報告を受け、重症化を防ぐワクチンの追加接種を速やかに実施するとともに、疾患などによりワクチンを接種できない人への配慮の呼び掛けにも努めるよう要望しました。

議会運営委員会

▼2月22日、第1回渋谷区議会定例会が招集されました。当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、条例11件、令和3年度一般会計補正予算1件、令和4年度一般会計及び3特別会計の当初予算4件、契約1件、財産の処分3件、東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更1件、定期借地権の設定1件、監査委員の選任の同意2

件、人権擁護委員の候補者の諮問5件、専決処分の報告1件、また、追加議案として補正予算1件を提出するとの説明を聴取しました。

▼当委員会は、この説明を踏まえ、定例会の会期及び日程について協議し、会期を3月25日までの32日間とし、また、当初予算の審査のため予算特別委員会を設置することなどを決定しました。

る臨時特別給付金の支給について報告を受けました。特に家計急変世帯の対象者は、基準が分かりにくいいため、周知の際には所得金額の具体例を示すなどの工夫をして掲載するよう求めました。

特別委員会

▼渋谷区地域福祉計画の策定について報告を受けました。専門分野だけでは解決が難しい複雑化・複合化する課題に対し横断的に相談・支援を行う重層的支援体制整備事業の実施に向けた取組などについて聴取しました。

交通・公有地問題特別委員会

▼第11次渋谷区交通安全計画について報告を受けました。渋谷区交通安全協議会の幹事で構成された検討会やパブリックコメントの実施後、交通安全協議会を経て、年度内に策定する予定です。安全な通学路の確保や電動キックボードの適切な利用啓発、自転車損害賠償保険の加入義務等、

昨今問題となっている課題を盛り込んだ内容となっている。引き続き交通安全事故ゼロを目指していくよう求めました。

▼国土交通省の担当者を引き、「羽田空港の機能強化に係る懇談会」を開催しました。懇談の中で、依然として飛行経路下の住民にとっては、落下物に対する不安があることを伝えました。さらに、飛行機の欠落部品については、皆無に向けた努力をするよう、強く要望しました。

女平等ダイバーシティセンター(アイリス)を視察し、施設の利用状況、啓発講座や相談業務などについて説明を聴取しました。

五輪・パラリンピック対策特別委員会調査打ち切り報告概要

▼東京都聴覚障害者連盟の栗野達人会長、越智大輔事務局長を講師に迎え「手話言語条例制定」多様性社会の機運醸成に繋げるために、デフリンピック東京開催招致に向けて「をテーマに全議員を対象にした研究会を実施しました。

▼区内の障がい者と学生の協働によって生まれたデザイン「シブヤフォント」を使った商品を作成、販売するなど、障がい者施設とともに事業を行う一般社団法人シブヤフォントを視察しました。

▼本特別委員会は、令和元年第2回定例会にて設置され、「第32回オリリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会に関する調査並びに対策の件」を付議事件とし、以下の活動を行いました。

▼新たに建て替えられた国立競技場の観客席や外構、フィールド内を視察しました。以前のように、小学校陸上記録会や中学校陸上競技大会で国立競技場を使用できるよう関係各所へ調整を要請し、実現の目途が立ちました。

▼男女平等と多様性を尊重する社会を推進するための学習や交流、諸活動の場を広く提供している施設である渋谷男

多様性社会推進特別委員会

自治権確立特別委員会

▼特別区人事・厚生事務組合が設置する更生施設千駄ヶ谷荘を視察しました。千駄ヶ谷荘は就労を含む一般型の施設で、生活保護を受給しながら仕事をを見つけ、地域のアパー

ト等への転居を目指すことを目的とした施設です。利用者の自立への支援体制等について質疑を行いました。

▼東京都児童相談センターのサテライトオフィスが4月から渋谷区子育てネウボラ内に設置されるとの報告を受けました。都児童相談センター職員が、定期的及び必要時にサ

官民連携事業調査特別委員会委員(10人) 令和4年3月25日現在

◎ 下嶋倫朗	金子快之	丸山高司
○ 伊藤毅志	鈴木建邦	苫孝二
○ 中村豪志	田中匠身	
○ 小田浩美	沢島英隆	

(◎委員長/○副委員長)

渋谷区が実施または実施を検討する事業を含む官民連携事業一般を調査するため、官民連携事業調査特別委員会の設置を最終日の3月25日の本会議において決定しました。付議事件「官民連携事業の調査並びに対策の件」

官民連携事業調査特別委員会を新設しました

予算に対する各会派の意見

構成人数が3人以上の会派

賛成 渋谷区議会自由民主党議員団

区民の安全・安心と更なる区民サービスの向上、
将来の人づくり・まちづくりのための予算編成を評価

令和4年度当初予算は、将来の渋谷のまちづくりのための基本構想や長期基本計画に基づく諸施策を着実に実施するための予算が組まれています。主な施策として、子育てでは児童虐待の防止と予防強化のため、渋谷区子育てネウボラ内に東京都児童相談所サテライトオフィスを設置、教育では学校施設長寿命化計画に基づく個別の学校施設整備、福祉では5歳から11歳までの子どもや3回目の方へのワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症対策の強化、さらに重層的支援体制整備を進め、8050問題やひきこもり、ヤングケアラーなどの悩みや課題に、新設する地域福祉と増員する生活支援の両コーディネーターが対応します。また、まちづくりでは、玉川上水旧水路緑道再整備や西参道整備事業の推進、産業振興ではコロナで傷んだ地域の中小企業支援のためのデジタル地域通貨事業やスタートアップ企業を支援するためのグローバル拠点都市推進事業、区政サービスでは、個々の利用者のニーズを認知型・提案型AIやICTを活用して把握し、一人ひとりが求める情報が提供できる体制を実現するためのデジタル化の推進など、基本計画の諸施策を実施するために予算が配分されています。

渋谷区議会自民党議員団は、区制施行90周年を迎える新年度予算が、区民生活の質を更に高める投資になると確信し、原案に賛成致します。

賛成 渋谷区議会公明党

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、
子育て・福祉等の未来を見据えた予算編成を高く評価

令和4年度当初予算については、長期化するコロナ禍で特別区税の減収は拡大の一途を見込んでいますが、区制施行90周年の節目を迎える本区は区政を停滞させることなく、区民の皆様が一日も早く安心して暮らせるよう、更なる充実が図られています。

新型コロナウイルス感染症対策は、迅速・円滑なワクチン接種体制の構築、また区立小・中学校、幼稚園の教室に二酸化炭素濃度測定器を設置し、子ども達の健康を守ります。

子育て支援では、『渋谷区子育てネウボラ』が本格始動。デジタルの活用により、一人ひとりに合わせた重層的な対応を構築し、部署間の連携強化が図られ、子育て世代への包括支援が前進します。また4月より、渋谷区子育てネウボラに児童相談所のサテライトオフィスが開設され、迅速な連携で虐待防止等に努めます。

区民福祉では、我が会派が取り組んできた、子ども・障がい・高齢・生活困窮など、縦割りの支援体制では対応し切れない複雑化した支援ニーズに対応する「重層的支援体制整備事業」の予算が計上され、渋谷区の地域共生社会の構築が前進します。また認知症予防プログラムにおいて「認知症検診セルフチェックシート」を活用し予防推進が拡充されます。

渋谷区議会公明党は、今後も一層の区民福祉向上に全力で取り組むこととお誓いし、予算に賛成致します。

賛成 シブヤを笑顔にする会

ウィズコロナ・ポストコロナ時代の区民福祉増進や
共創のまちづくりを推進する予算編成を評価

令和4年度の予算編成は、新型コロナウイルス対策を引き続き徹底しつつ、ポストコロナを見据えた共創するまちづくりや教育・福祉の充実が図られている点を評価します。子育て支援では、子育てネウボラの更なる強化により、多様な家庭のサポートや東京都児童相談所のサテライトオフィス設置が実現。教育では、次世代人材を育む学校施設整備計画がスタート。公共施設と複合化し、地域と共にある学校づくりを目指します。福祉では重層的支援体制の整備が始まり、これまでの支援体制で困難だった課題に対応するための具体的な計画策定が進みます。スポーツ分野ではパラスポーツの振興やシブヤ部活動改革プロジェクトが推進されます。健康分野ではワクチン接種体制の整備はもちろん、HPVワクチン等、その他の感染症対策も強化します。防災では、総合防災訓練が各地区での防災キャラバンに移行し、共助のきっかけを作ります。環境分野では廃プラスチックを資源化し、地球環境への負担軽減を図ります。まちづくりについては、玉川上水旧水路緑道・大山街道・西参道での整備が進み、魅力的なコミュニティ空間を育みます。産業振興ではデジタル地域通貨をいかし、持続可能な地域経済支援と社会活動参加の促進を図ります。

本年度もシブヤを笑顔にする会は、誰もが笑顔で暮らせる渋谷区を実現するためにあらゆる区政課題に取り組んでまいります。

反対 日本共産党渋谷区議会議員団

不十分なコロナ対策や渋谷図書館の廃止、国保・高齢者医療
保険料の値上げ等福祉切り捨ては認められない

コロナ対策では、介護・障がい者施設、学校や保育園などで感染が拡大しているのに、区独自の定期的なPCR等検査もくらしと営業を守るための給付金も実施しません。

5万3千人が利用していた渋谷図書館を、区民の声を無視して廃止しました。また、国民健康保険料や後期高齢者医療保険料の引上げで、区民に負担増を押し付け、認可保育園、特養ホームの待機児(者)がいるのに、認可園の新設は1園36人のみで、特養ホームの増設計画はありません。

その一方で、渋谷駅周辺再開発に37億円、海外企業を呼び込むグローバル拠点都市推進事業と区民の個人情報や企業に提供してもらうけさせるスマートシティ推進事業に合計3億1,330万円も計上しました。恵比寿南一公園は企業のもうけのために活用させます。また、河津の保養所に1億2,231万円の無駄遣いを続けています。

日本共産党区議団は、PCR検査の拡大や低所得者への給付金支給などコロナ対策の強化、高校生と低所得高齢者の医療費無料化、小中全学年での35人学級、学校給食費の無償化、介護士や保育士の処遇改善など、区民のくらし・福祉を守るために全力をあげます。また、ロシアのウクライナからの即時撤退、憲法9条をいかけた外交、やさしく強い経済への転換に力を尽くします。

賛成 立憲民主党渋谷

行政サービスのデジタル技術向上と長期的展望での
予算編成を評価、安全・安心のための更なる体制強化を

令和4年度一般会計当初予算総額は1,062億6,700万円と過去最高額となりました。新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種体制の強化及び未来を見据えた投資が重視されています。

令和2年度第1回定例会で我が会派が提案した「EBPM(証拠に基づく政策立案)」の本格導入を評価します。政策目的を明確化し区民生活の質の向上に資することを期待します。中小企業支援ではコロナ禍における特別融資の継続に加え、事業多面化・承継融資など各ニーズに即した対応と、新しくデジタル地域通貨事業も開始されます。区民、事業者が利益を享受できる事業になることを期待します。7月開始のプラスチック製品資源回収は、環境への寄与度を区民に分かりやすく説明し、積極的に協力頂ける取組を要望します。スポーツ・教育分野では2020パラリンピックのレガシー事業としてパラスポーツの支援と普及事業を推進します。中学校部活動の改革に加え幼児水泳教室や陸上講習会など、渋谷区らしい総合型スポーツ推進の展開に期待します。小中学校ではデジタル教科書が全校で導入されます。ICT教育の推進においては、教職員の指導力と児童生徒の理解力の向上に努めると共に、各学校間でICT推進の格差が生じないように要望します。

立憲民主党渋谷は、多様性を認め合い、支え合う社会の実現に取り組んで参ります。

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

令和4年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始した。このことは、明らかにウクライナの主権と領土一体性を侵害するもので、国連憲章に反し国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かす行為であり断じて容認できない。

よって渋谷区議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に断固抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア政府に対して、軍を即時に完全かつ無条件で撤退させるよう強く求める。また、我が国政府に対して、邦人の確実な保護と、ロシア政府に対し制裁を含め毅然たる態度で臨むよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月8日

渋谷区議会

ロシア政府に対し核兵器の使用と威嚇を中止することを求める決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵略と核兵器使用の示唆によって、世界は深刻な核戦争の脅威にさらされている。ロシアは、通常兵器による攻撃などに対しても、核兵器を使用すると言及しており、核戦争に発展しかねない危険な事態である。

プーチン大統領が、核戦力の特別警戒態勢命令を発令し世界を恫喝していることは、国連憲章に違反する暴挙である。

我が国は、原爆投下の惨状を身をもって体験した国として、再び広島、長崎の惨禍を繰り返さないために、ロシアによる核兵器の使用や威嚇は絶対に許さない。

よって渋谷区議会は、ロシア政府に対して、ウクライナからの即時撤退と核兵器の使用や核兵器による威嚇をやめるよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月25日

渋谷区議会

◆議員提出議案 ◇委員会提出議案

令和4年 第1回定例会／議案等の概要と結果		自由民主党	シブヤ笑顔	公明党	日本共産党	立憲民主党	れいわ新選組	その他(議席番号)	無所属	無所属	結果
件名	概要										○賛成 ×反対
渋谷区監査委員の選任の同意について	國貞 美和(くにさだ みわ)氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
渋谷区監査委員の選任の同意について	吉井 敏昭(よしい としあき)氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員の候補者について	中馬 民子(ちゅうま たみこ)氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない旨 答申
人権擁護委員の候補者について	若江 健雄(わかえ たけお)氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない旨 答申
人権擁護委員の候補者について	野中 智子(のなか ともこ)氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない旨 答申
人権擁護委員の候補者について	木村 千鶴子(きむら ちずこ)氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない旨 答申
人権擁護委員の候補者について	松居 智子(まつい ともこ)氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支障ない旨 答申
渋谷区立図書館条例の一部を改正する条例	渋谷図書館の廃止	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
渋谷区組織条例の一部を改正する条例	1 部の新設及び廃止並びに分掌事務の移管等 2 関係条例の一部改正	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
渋谷区手数料条例の一部を改正する条例	1 オンライン申請により交付する証明書類の追加 2 犬の登録手数料に係る規定の整備 3 ふぐ加工製品取扱届出済票交付手数料等の廃止 4 長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に伴う特例許可申請手数料の新設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	1 宣誓書の押印欄の削除 2 宣誓書における署名の規定の削除 3 その他規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	不妊治療のための休暇の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	1 職員の育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に係る規定の追加 2 非常勤職員の育児休業等の取得要件の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区印鑑条例の一部を改正する条例	オンラインによる印鑑登録証明の申請の場合における要件の緩和	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例	1 保険料率の改定 2 保険料の減額に係る規定の整備 3 未就学児の被保険者均等割額の減額に係る規定の追加 4 その他規定の整備	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
渋谷区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	占用料の額の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区が管理する道路における道路構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例	歩行者利便増進道路の指定制度に係る規定の追加	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
渋谷区立都市公園条例の一部を改正する条例	1 使用料の額の改定 2 占用料の額の改定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	不妊治療のための休暇の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度渋谷区一般会計補正予算(第8号)	補正金額 9,088,269千円 繰越明許費の補正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
令和4年度渋谷区一般会計予算	予算額 106,267,000千円 繰越明許費の設定 債務負担行為の設定	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
令和4年度渋谷区国民健康保険事業会計予算	予算額 25,485,180千円	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
令和4年度渋谷区介護保険事業会計予算	予算額 16,751,872千円	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
令和4年度渋谷区後期高齢者医療事業会計予算	予算額 6,717,167千円	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
猿楽橋擁壁等更新工事請負契約	契約金額 2,899,248,000円 契約の相手方 大成建設株式会社 工期 契約の日から令和7年6月30日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の処分について	売却予定建物 所在 東京都渋谷区代官山町10番地60 名称 代官山アドレス 面積 65.35平方メートル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の処分について	売却予定建物 所在 東京都渋谷区代官山町10番地60 名称 代官山アドレス 面積 69.66平方メートル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の処分について	売却予定建物 所在 東京都渋谷区代官山町10番地60 名称 代官山アドレス 面積 65.35平方メートル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について	保険料の軽減に係る経費を、各区市町村の一般財源から負担金として支弁する期間の延長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
定期借地権の設定について	国立競技場運営事業に関する定期借地権の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度渋谷区一般会計補正予算(第9号)	債務負担行為の補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
千駄ヶ谷区民複合施設(仮称)建設建築工事請負契約	契約金額 1,441,000,000円 契約の相手方 共立建設株式会社 工期 契約の日から令和6年1月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
千駄ヶ谷区民複合施設(仮称)建設電気設備工事請負契約	契約金額 225,500,000円 契約の相手方 岸野電気株式会社 渋谷営業所 工期 契約の日から令和6年1月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
千駄ヶ谷区民複合施設(仮称)建設機械設備工事請負契約	契約金額 171,600,000円 契約の相手方 株式会社アパックエンジニアリング 渋谷営業所 工期 契約の日から令和6年1月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
◆渋谷区公契約条例の一部を改正する条例	区発注事業で働く労働者の労働条件向上	×	×	×	○	○	×	○	×	×	否決
◆渋谷区立河津さくらの里しぶや条例を廃止する条例	現行条例の廃止	×	×	×	○	×	○	×	×	×	否決
◆渋谷区特別区税条例の一部を改正する条例	減免制度拡充、区民生活支援	×	×	×	○	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区地球温暖化防止条例(制定)	1 区内二酸化炭素排出量削減 2 地球温暖化防止対策推進	×	×	×	○	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区高齢者の医療費の助成に関する条例(制定)	高齢者医療費負担軽減	×	×	×	○	×	×	×	×	×	否決
◆渋谷区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	子育て中保護者の負担軽減	×	×	×	○	○	×	○	×	×	否決
◆渋谷区奨学資金に関する条例の一部を改正する条例	返還困難者の救済	×	×	×	○	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区学校給食費の助成に関する条例(制定)	保護者負担軽減	×	×	×	○	○	×	×	×	×	否決
◆渋谷区こども条例(制定)	児童の権利条約に基づく条例の制定	×	×	×	○	○	×	○	×	×	否決
◆渋谷区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	手当対象外者救済	×	×	×	○	×	×	○	×	×	否決
◆認知症の人と家族にやさしいまちしぶや条例(制定)	認知症とともに生きる人の権利尊重	×	×	×	○	○	×	○	×	×	否決
◇渋谷区議会委員会条例の一部を改正する条例	常任委員会の所管に関する規定の整備	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
国民健康保険料を引き上げないことを求める請願		×	×	×	○	○	○	×	×	×	不採択
認可保育園を増設し待機児童の解消を求める請願		×	×	×	○	×	○	×	×	×	不採択
安全・安心な保育の実現を求める請願		×	×	×	○	○	○	○	×	×	不採択
渋谷区立渋谷図書館の廃止案に関する請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	取下げに 同意
渋谷区立渋谷図書館の廃止見直しを求める請願		×	×	×	○	○	○	×	×	×	不採択
安全・安心の医療・介護を実現し、国民のいのちと健康を守ることを求める意見書を国に提出することを求める請願		×	×	×	○	○	○	○	×	×	不採択
ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
ロシア政府に対し核兵器の使用と威嚇を中止することを求める決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
デフリンピックの東京開催を求める意見書		○	○	○	○	○	×	○	○	○	決定

報告 専決処分の報告について 差押債権に係る請求訴訟の提起に伴う専決処分

編集後記 今回は、令和4年第1回定例会の内容をお知らせしました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。区議会事務局調査係 TEL: 03-3463-1096 FAX: 03-5458-4939 メールアドレス: div-kugikai@shibuya.tokyo

しぶや区議会だよりは 発行日を3日過ぎても届かない場合など、区議会だよりの配布に関するお問合せは、区ニュース各戸配布コールセンターへ ☎ 0120-849-277 (月)~(土) 9:00~18:00 ※祝・休日、1月1~3日を除く